

## 《スケート場使用における留意事項》

### ○リンク使用上の留意事項

県立スケート場より、ながぐつホッケー使用後のリンクに砂などが残りスケート靴で使用する際に危険なため、対処するよう指導があったことから、以下の対応を行う。

- ・長靴の手入れを徹底すること（ソールの汚れ落とし）
- ・別添箇所図の赤色部分でながぐつに履き替えること
- ・試合前にリンク側にある水の貼ったタライでソールを洗淨・拭き取りした後、リンクに上がること（水の貼ったタライはスケート場で準備）

### ○連盟道具の保管場所について（変更）

連盟道具については、これまでリンク側に置くことを許可してもらっていたが、今シーズンから他の競技団体と同様に食堂側の部屋に置くようスケート場からの指示があり、朝の搬入および試合後の収納場所が変更となる。

また、これに伴い、連盟道具の保管については、通年でスケート場に置くことので了承を得ている。

### ○ゴール片付け時の注意点

終了時にゴールをリンクから片付ける（上げる）際、氷に固定するための尖っている部分（2カ所）を、ホッケーリンク側に向けず、スピードスケート側に向けて置くようお願いします。

## 《運営体制》

### ○リーグ戦の運営体制について

- (1) 責任・サポートチームは、タイマー、ストップウォッチ、フラッグ、防具・カメラ、三脚、延長コード設置、ゴールの設置を協力して行う。
- (2) ビデオカメラのは、責任・サポートチームで3台設置する。各チームは設置方法を理解する者を必ず置くこと。（※浸透するまで主担当がフォローアップ）
- (3) 責任チームは、7：45頃に全チーム代表者を集め、対戦表や役割等を確認し、連絡事項があれば伝える。【代表者会議の開催】
- (4) 事務局が各チームへ連絡事項がある場合は、試合前に会場で責任チームへ伝達する。

- (5) 第1試合の主審は、試合開始の5分前に練習を終了させ、副審、ラインズ、記録、カメラ、タイマーの配置を確認する。
- (6) 責任・サポートチームは後片付けをする。最終試合チームまたは練習・体験試合参加者もゴール撤収等を協力して行う。
- (7) 試合の運営、審判の判定等協議が必要な場合は、事務局へ連絡する。
- (8) 試合記録は、広報班のいるチーム（JPMまたはにゃんこ）へ渡す。

## 《競技上の留意事項》

### ○競技ルールの徹底

昨今、各プレイヤーの技術力向上に伴い、接触プレーが多くみられます。「怪我なく楽しく子どもから楽しめる」ながぐつホッケーの原点を再認識し、各プレイヤーは、今一度「ながぐつホッケーRULEBOOK」・「秋田県ルールおよび解釈・補足集」を熟読してください。（連盟ホームページに公開）

### ○審判部門の厳格化とジャッジの標準化

- (1) 審判は厳格な立場であるため、担当する者はルールブック等の内容を確実に把握するとともに、ゲーム中の立ち位置、ラインズマンへの目配りなどにより、広い視野で反則行為等の見落としがないよう努め、特に接触プレーに関しては、厳正に対処をお願いします。
- (2) 審判部での情報共有と意思疎通により、各審判のジャッジおよび判断基準の標準化に努めてください。
- (3) 試合中における審判への過度なアピールは、不平不満とみなし、「暴言等（不平不満等も含む）」として、マッチペナルティーの対象となります。ルール上、キャプテン（1番）のみ、30秒以内の質問・確認は可能です。
- (4) 副審は試合開始前と終了後にゴール裏のビデオカメラの電源のオン、オフを行い。主審はその確認をしてください。
- (5) 秋田県ルールおよび解釈・補足集の改正検討
- (6) 審判講習を兼ねた試合

### ○ヤングプレイヤーへの対応

プレー経験の浅い選手（ヤングプレイヤー（以下「YP」という）、経験3年目までの選手）には、ヘルメットは「緑」を着用させてください（ただし、ジャッジを甘くすることはありません）。YPは、緊張や戸惑いをもって参加します。リンク周囲からも温かいサポートをお願いします。

## ○助っ人制度について

過去3シーズン実施した助っ人制度は撤廃します。ただし、集団感染等のやむを得ない事情で5人未満となる場合、原則不戦敗となりますが、事前に事務局に連絡があれば、別日の空いてる日程等で調整を検討します。各チームは不足することがないように、チーム内での参加調整に努めてください。

## 《ながホ競技人口の拡大に向けた取り組み》

### ○課題

2014-15年シーズンで12チームあった秋田リーグが、現在は8チームとなり、チーム数および競技人口の減少が顕著となっている。

#### 対応1：ながホ体験デーの開催

令和5年11月5日（日）10：00～12：00（受付9：30～）

※リンク予約は、連盟負担で8:30から借りているため、体験デーのスタッフは、8:30～9:45までの練習を可能とする。

#### 対応2：広報活動の強化

- ・連盟Instagramの開設
- ・チラシ作成
- ・大学生サークルや他のホッケー団体等へのPR
- ・Youtube放送の継続配信（5カメラ体制→3カメラ体制）

#### 対応3：体験および練習試合の開催

- ・リーグ戦開催日の主に第7～8試合で、体験および練習試合を常時開催
  - ・体験および練習試合の参加者の優先順位は、以下のとおり
    - ①体験チームおよび体験者（連盟チームに所属していない者）
    - ②1年目プレイヤー
    - ③女子および50歳以上のプレイヤー
    - ④経験年数の浅いプレイヤー
- ※ただし、人数が集まらない時は、強化試合等を行う。

	役割	リーダー	サポート
広報班	PR活動全般	美菜	佐藤（絢）
	Instagram対応		はるか
	HP対応（広報関係）		駿平
	動画編集YouTube対応		わかな